

2017 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月23日（水）～12月8日（金）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016078
塚野 天

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	反省・課題	6
	謝辞	6

付録

	留学時の IEP アクティビティの内容と所感	7
--	------------------------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラルミズーリ州立大学

研修期間：平成 29 年 8 月 23 日（水）～平成 29 年 12 月 9 日（金）

2 研修先概要

(1)大学について

セントラルミズーリ大学は、ウォレンスバーグにある州立の総合大学である。150 もの芸術プログラムがあり、ミズーリ州以外からだけではなく、約 60 か国からの留学生も集い学んでいる。広大なキャンパスにはスポーツジム、屋内外プール、映画館、ボウリング場、舞台劇場などさまざまな施設がある。学生寮や大学が管理する学生専用アパートも存在している。ウォレンスバーグ市は非常にのどかな地方であり、充実した設備のもと、安全に生活し勉学に励む環境が整っている大学である。

(2)大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学は、国際化に対応して、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。今回お世話になった語学コースは英語を母国語としない学生が英語を学ぶためのコースである。各々の英語のスキルによって 9 つのクラスに振り分けられるため、それぞれの学生に合わせた勉強をすることが出来る。また、授業のほかにも多くのアクティビティ行事のプログラムが用意されているため、スピーキング力やリスニング力を効果的に学ぶ事が出来ると同時にアメリカ文化に直に触れながら学べるプログラムになっている。

3 研修目的

今回の研修の目的は、英語力を確実に上げると同時に、アメリカ文化に直接触れ日本との相違点や文化、歴史を学ぶことである。英語を話さなければ生活できない状況に身を置くことによって英語力が向上すると考えた。英語を毎日話すことでネイティブの人に伝わる本格的な発音や表現を学ぶ事が出来るのである。また、海外の文化に直接触れて四か月間生活することで、自身の視野が広がると考えた。今後国際文化や国際問題を学ぶ上でとても役に立つと考えた。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

8月24日～25日	オリエンテーション	施設紹介や授業説明、学生証の発行、クラス決めテスト、健康診断等
8月28日	Session 1 授業開始	
8月31日	IEP Activity	アメフト試合観戦
9月10日	IEP Activity	カンザスシティロイヤルズ試合観戦
9月22日	IEP Activity	Jefferson City 研修
9月26日	IEP Activity	映画館にて映画鑑賞
10月3日	Session 1 Final Exam	
10月8日	IEP Activity	学生による演劇鑑賞
10月9日	IEP Activity	Japan Festival 参加
10月10日	Session 2 授業開始	クラスレベルが上がる場合有
10月17日	IEP Activity	ハロウィンイベント
10月29日	IEP Activity	Harvest イベント
11月17日	IEP Activity	IEP Thanks Giving
11月20日～26日	Thanks Giving Break	ホストファミリー訪問や各々旅行へ
11月30日	Session 2 授業終了	
12月4日～5日	Session2 Final Exam	
12月6日	Awards Ceremony	プログラム終了証書授与

時間割

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1.(9:00~10:50)	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	No class
2.(11:00~12:50)	Writing	Grammar	Writing	Grammar	
(1:00~1:50)	Lunch Break				
3.(2:00~2:50)	Accent Reduction	Seminar in Am. Culture	Accent Reduction	Seminar in Am. Culture	
4.(3:00~3:50)	American History	USA and Japan	American History	USA and Japan	
5.(4:00~4:50)	TOEIC		TOEIC	Conversation Partner	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) Reading

英語の文章を読み解く事を中心とした授業である。長文の物語が載った参考書や、本を授業の中で読み、クラスメートと議論しながら、理解していく。本を通してさまざまな表現方法を理解する能力が向上する。

ii) Writing

エッセイなどの長い長文の書き方について学ぶ授業である。文章を書く上でのはじめや締め言葉の使い方など詳しく学べる。毎週、エッセイのテストがあり、それを訂正して新たに書くということを繰り返し、着実に文章力をあげることが出来る授業である。

iii) Communication Skills

主に、プレゼンテーションを通してコミュニケーションのスキルを高める授業である。自分のプレゼンテーションする内容決めから入念にし、クラスメートのプレゼンに対する質問も取り入れ、より実践的に学べる授業である。英語でのプレゼンテーションの基本を学べる。

iv) Grammar

日本で学んできた文法を基本として、さらに発展した文法を学ぶ授業である。習った文法を頭で理解するだけではなく、会話の中に取り入れる事が出来るよう練習する授業である。

v) Accent Reduction

5 グループに分かれ、各 Clinician の方に発音の基礎から教えてもらう授業である。グループの中でテーマを決め、それについて話し合う中で少しでも間違った発音をした場合すぐにその Clinician が直してくれるため、現地の発音をしっかりと学ぶ事が出来る。

vi) American History

アメリカの歴史について学ぶ授業だが、具体的な本や参考書、時には子供用の絵本から歴史を深く読み解いていく授業である。

vii) TOEIC

TOEIC の点数向上のための授業で、TOEIC に臨むための心構えや、問題の解き方のコツなど詳しく学ぶ授業である。何度も過去問題を解き採点をして、毎週ランダムで変わるグループの中で分からない所は話し合う授業形式であった。

viii) Seminar in Am. Culture

NUIS の学生以外の IEP 生徒も交えた授業である。アメリカの文化を学ぶ授業であり、ビデオを見たり実際に研修に行ったりし、アメリカ文化を肌で感じる事の出来る授業である。

ix) USA and Japan

日本とアメリカを比較したプレゼンテーションを作ったりするなど、日本とアメリカの関係に注目した授業である。

x) Conversation Partner

各 NUIS 生徒一人か二人に、アメリカ人の生徒がつき、会話を通して英語だけでなく日常の流行を伝え合うなどする授業である。トランプや UNO をして会話を楽しむ時もある。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)英語のリスニング・スピーキングの向上

英語を話さなければ、何も伝えられない状況の中に身を置いたため、留学前に比べ確実にリスニング力・スピーキング能力が向上した。授業初日は先生方の言っていることがほぼ理解できなかったが、授業が進むにつれ、毎日少しずつ授業の理解度が上がっていることを実感することができた。

iii)異文化理解

アメリカ人の学生とバスルームを共有や生活を共にする事により、日々の日常の中で文化の違いを多く発見することができた。また、アメリカ文化だけではなく、韓国人、中国人、台湾人など他の国の学生とも仲良くなり、それぞれの国の文化の違いを伝え合う機会も出来た。留学前に抱いていた考えと違う発見もあり、日本を見つめなおすことも出来たといえる。

6 反省・課題

4 か月間の中で確実に英語力を伸ばすことができ、異文化への理解も深まった。しかしながら、英語力はまだまだ不十分であり今後、さらに勉学に励む必要がある。また、帰国してからも英語に触れ続ける努力をしなければならない。

謝辞

今回セントラルミズーリ州立大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった Valerie Heming さん、Jill Thomas さんをはじめとする IEP の先生方、その他留学先でお世話になった大勢の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学のアメリカ留学担当で、留学前指導、留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、矢口裕子先生、藤本直生先生、小林伊織先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを心から感謝いたします。

付録：留学時の IEP アクティビティの内容と所感

8月31日 木曜日	アメリカンフットボール観戦
所感	大学の敷地内にあるスタジアムで試合は行われる。観客全員が UCM のカラーである赤の服を着て赤い旗を振っていた。選手のプレーに大きなりアクションで一喜一憂し、時には叫ぶ人がある光景は、とてもアメリカならではの光景であった。



9月10日 日曜日	カンザスシティロイヤルズ試合観戦
所感	カンザスシティロイヤルズの野球の試合を観戦した。メジャーリーグを生で見て日本の野球観戦との違いも感じられた。



9月22日 金曜日	ジェファーソンシティー研修
所感	ミズーリ州博物館へ行った。現地の方の説明を聞き、歴史的な絵や建物をみて、アメリカの文化や歴史を肌で感じる事が出来た。

9月26日 火曜日	映画鑑賞
所感	ウォレンスバーグ市内にある、大学からすぐ近くの映画館へ行った。公開されている映画のなかでそれぞれが興味のある映画を鑑賞した。多くの人は、日本で当時未公開であった「IT」というホラー映画を鑑賞した。日本の映画館と大きな違いはなかったように感じた。

10月8日 日曜日	学内演劇鑑賞
所感	大学の敷地内にある劇場で、学生によるミュージカルが定期的に行われる。「FOOTLOOSE」を鑑賞した。演技や歌唱のレベルが高く、すべてを理解するのは困難であったがそれでも役者たちの想いが伝わってくる素晴らしいミュージカルであった。

10月9日 月曜日	Japan Festival
所感	日本の祭典が行われ、日本文化の代表ともいえるアニメをはじめとして、着物や盆栽、さらには日本食まであり、現地の方々は日本の文化を肌で感じていた。おりがみ教室もあり、日本人は幼少期からおりがみに触れているが、半分に折る事にも苦戦しているアメリカ人を見て、日本の文化を感じられた。



10月17日 火曜日	ハロウィンイベント
所感	かぼちゃにペイントを行った。日本では食用としてしか扱った事のないかぼちゃにカラフルな絵の具を塗ることに最初は躊躇ったが、とてもアメリカの文化を感じられた。

10月29日 日曜日	収穫祭イベント
所感	大学から少し離れた場所にあるかぼちゃ畑へ行った。オレンジの巨大なかぼちゃが並ぶ畑はとても圧巻の光景であった。日本では見ることがない様々な形や大きさのかぼちゃを見ることができ、有意義な体験であった。

11月17日 金曜日	サンクスギビングディナー
所感	IEPの生徒や先生、ボランティアの方々が集まり、サンクスギビングの伝統的な料理を食べた。パンプキンパイやターキーなどは初めて食べる生徒も多かったがとても美味しかった。また同じ席になった方にサンクスギビングについて詳しく聞くことができ、とても勉強となる機会であった。

